



**阪神シニアカレッジ
学長文学歴史サロン 第5回**

プログラム

日時 令和7年3月11日(火)

13:00~15:00

場所 401教室

「春のクラシック音楽から」

レクチャー

歴史の中の春の名曲

学長 田辺 真人

コンサート&トーク

春のクラシック音楽

デュオてまり

正司 円 ヴァイオリン

服部 彩恵 フルート

ゲスト

仲内 咲樹 ピアノ

♪ 演奏曲

- 1 ヴィヴァルディ「四季・春・第1楽章」
- 2 メンデルスゾーン「春の歌」
- 3 瀧廉太郎「花」
- 4 シューマン「交響曲第1番 春」
- 5 ヨハン・シュトラウス2世「春の声」
- 6 チャイコフスキー「四季・3月 ひばりの歌」
- 7 宮城道雄「春の海」
- 8 コープランド「アパラチアの春」



服部彩恵 正司 円



仲内咲樹

花

作詞：武島羽衣

作曲：瀧廉太郎

春のうらのの 隅田川
のぼりくだりの 舟人が
權のしづくも 花と散る
ながめを何に たとうべき

見ずやあけぼの 露浴びて
われにももの言ふ 桜木を
見ずや夕ぐれ 手をのべて
われさしまねく 青柳を

錦おりなす 長堤に
暮るればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
ながめを何に たとうべき



トピックス

- ◎アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741) イタリア
協奏曲の先駆者。
- ◎フェリックス・メンデルスゾーン (1809-1847) ドイツ
神童。ライプツィヒ音楽院の設立。バッハなど過去の音楽を研究。
ゲヴァントハウス管弦楽団のカペルマイスター(指揮者兼楽長)。
- ◎瀧 廉太郎 (1879-1903) 日本
東京音楽大学(現:東京芸術大学)→ライプツィヒ音楽院に留学。「荒城の月」「箱根八里」。
- ◎ロベルト・シューマン (1810-1856) ドイツ
ピアニスト→作曲家。音楽評論家。妻:クララ・シューマン(当時の一流ピアニスト)。
交響曲第一番「春」の初演=ゲヴァントハウス管弦楽団(メンデルスゾーン指揮)。
- ◎ヨハン・シュトラウス 2 世 (1825-1899) オーストリア
ワルツ王、オペレッタ王として、生前より名声を手にする。父=ヨハン・シュトラウス 1 世。
- ◎ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー (1840-1893) ロシア
三大バレエ「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」を作曲。
四季=12ヶ月に対応した12の小品からなり、それぞれ詩が引用されている。
3月(ひばりの歌)…野には花々がさざめき 空には光がきらめく
春ひばりたちの歌声は 果てなき空に満ちあふる
—マイコフ
- ◎宮城 道雄 (1894-1956) 日本
作曲家、箏曲家。神戸市出身。十七絃(箏)の開発。7歳のころに失明。
「春の海」…1932年に日米仏でレコード発売。
- ◎アーロン・コープランド (1900-1990) アメリカ
20世紀のアメリカ音楽における先駆者。
バレエ音楽「アパラチアの春」より第7楽章=『シンプル・ギフト』の名で知られるシェーカー派音楽を用いている。

